

文化祭での発表に向け

相野谷中が京城跡を見学

相野谷中学校の1年生8人は10月11日、学校の近くにある町指定文化財の京城跡を訪れました。

これは地域の史跡を学ぶ取り組み「京城を学ぶ」という授業の一環として、京城跡保存・活用・整備検討委員会の寺尾邦義委員長の案内のもと、生徒たちは、中央曲輪や敵の侵入を防ぐ虎口や堀切の跡などを巡り、山頂からの絶景を眺めていました。

寺尾委員長は、「4～500年前にこれらを人力で作ることの大変さを考えてみてください」と説明していました。

生徒たちは、今後学習の成果をまとめ、文化祭で発表する予定です。



01. 生徒たちが寺尾委員長から京城跡の説明を受ける。02. 頂上から相野谷中学校を見下ろす生徒たち。



Town topics
10/11



01. 取組を報告する西田町長。02. パネルディスカッションを行う参加者。

10年間を振り返り、未来につなぐ

紀伊半島大水害10年シンポジウムを開催

県、津地方気象台などは9月11日、紀伊半島大水害10年シンポジウムを開催しました。

これは、紀伊半島大水害から10年の節目を迎えることから、改めて振り返り、風水害に対して県民が身の安全を守る行動を考えるために行われたもので、シンポジウムには紀伊半島大水害で甚大な被害を受けた県の関係者が参加し、犠牲者に黙とうを捧げ、町防災行政総合アドバイザーの松尾一郎さんによる基調講演などが行われました。

その後、「災害の教訓をバネに進化を」をテーマにパネルディスカッションが行われ、鮎田自主防災会の東口高士会長は「防災は日々の生活、地域活動の中で自然に取り組むことが大事」と話していました。

Town topics
9/11

新型コロナウイルス感染症の終息を願い

サプライズ花火を実施

町商工会青年部は10月17日、鵜殿港において、約250発の花火を打ち上げました。

これは、新型コロナウイルス感染症の終息を町民のみなさんと一緒に祈願するため、サプライズ花火を打ち上げ、地域の活性化に寄与することや医療従事者に感謝の気持ちを届けることを目的として行われました。

新型コロナウイルス感染症対策として、打ち上げ会場付近での密をさけるため、当日まで周知は行わず、サプライズとして打ち上げられた花火が秋の夜空を彩りました。

Town topics
10/17



秋の夜空を彩ったサプライズ花火



01. 親子で向き合いタッチケアをする様子。02. 声をかけながら和やかな雰囲気をつくる本館先生。

親子の絆と親同士の交流を深める

タッチケアで楽しくスキンシップ

町社会福祉協議会は10月6日、子育て支援活動の一環として、本館千子講師を招き、「タッチケア」を実施しました。

これはホホバオイルを使ったベビーマッサージを行うことで、リラックスしながら親子のスキンシップを図ることを目的として行っています。

参加者たちは、子どもと見つめ合い、語りかけながらタッチケアを行った後、子育ての悩みについて講師や先輩ママからアドバイスをもらうなどして交流を深めていました。

本館先生は「1人で悩まずに同年代の子どもを持つ方と交流して、子育てを楽しんでほしい」と話していました。

Town topics
10/6

町民の健康促進のために

町山歩き部会ツアーを開催

町山歩き部会は10月3日、熊野古道の観音道から大吹峠までを歩くツアーを開催しました。

同部会は町民の健康促進を目的に、山歩きたい初心者から上級者まで楽しめるコースを提案し、山歩きを行っており、今回は半年ぶりの開催となり、8歳から84歳までの22人が久しぶりの山歩きを楽しみました。

参加者たちは、大泊駅から清泰寺を訪れ、観音様を参拝し、歩行距離約5.5キロの観音道の道のりを4時間かけて散策しました。

町山歩き部会世話役の福田将志さんは「今後も感染症対策を行いながら、町民の方々の健康促進のため、楽しく安全に活動していきたい」と話していました。



大吹峠で記念撮影する参加者

Town topics
10/3

「紀宝町の火」が誕生

三重とこわか国体・大会炬火式を実施

町教育委員会とボランティア団体「MANABI☆ボランティア」は8月21日、町ふるさと資料館で三重とこわか国体・とこわか大会の炬火式を開催しました。

当初、町内の児童が参加し、火起こし体験などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となり、MANABI☆ボランティアのメンバーで火起こしを行いました。

メンバーは、ふるさと資料館の栗須高洋館長からレクチャーを受け、摩擦熱で火をおこす道具「まいぎり」を使った原始的な方法で採火し、「紀宝町の火」として炬火台を完成させていました。

Town topics
8/21



01. トーチに点火するMANABI☆ボランティアのメンバーたち。02. まいぎりを使って火をおこす様子。